

2月27日

テーマ：疑うたがわずにお祈いのりしましょう

聖書箇所：ヤコブの手紙てがみ 1章5～8節しょう

◆今日のみことば

ただし、少しも疑うたがわずに、信しんじて願ねがいなさい。疑うたがう人は、風かぜに吹ふかれて揺ゆれ動うごく、  
海うみの大波おおなみのようです。 ヤコブの手紙てがみ 1章6節しょう

◆メッセージ

信仰生活しんこうせいかつは素晴らしいです。でも何か辛ないこと悲つらしいことなどが起おきて、どうしたらよいのか分わからない時ときもあります。

今日のみことばは、そのような時には神かみさまに、みこころを知るための知ち恵えを与あたえてください、とお願ねがいするように勧すすめています。そうすれば、神かみさまは求もとめる人ひとに豊ゆたかに知ち恵えを与あたえてくださるお方かたですから、お祈いのりに応こたえて知ち恵えを与あたえてくださるからです。感謝かんしゃなことです。

お祈いのりする時ときの大切たいせつな点てんも書かかれています。それは、疑うたがわないでお祈いのりするということです。神かみさまはお祈いのりに応こたえてくださるかもしれないし、応こたえてくださらないかもしれないと心こころの中で疑うたがい、海うみの大きな波おおなみのように心こころが揺ゆれ動うごくことを、神かみさまは喜よろこばれません。疑うたがわずにお祈いのりしましょう。神かみさまは必要ひつような知ち恵えを与あたえてくださいますから。

私たちがお祈いのりすることを、神かみさまは喜よろこんでくださいます。辛つらい時ときや悲かなしい時ときだけではなく、どのような時ときでも、お祈いのりすることを望のぞんでおられます。楽たのしい時ときも辛つらい時ときも、お祈いのりを通して神かみさまのみこころを求もとめましょう。

この手紙てがみを書かいたといわれているヤコブさんは、お祈いのりをとて大切にしていたそうです。よく膝ひざまずいて長ながじかんお祈いのりしてましたので、ヤコブさんの膝ひざはラクダの膝ひざのようになっていたと言いわれています。どのようなことについてもお祈いのりして、神かみさまからの知ち恵えを求もとめて、生せい活かつしておられたのでしょね。

私たちもお祈いのりを大切たいせつにしましょう。楽たのしい時ときも辛つらい時ときも疑うたがわずに、お祈いのりしましょう。



◆お祈り

「神かみさま、私われたちのお祈いのりを聞きいてくださることを感謝かんしゃします。これからも疑うたがうことなくお祈いのりをする事ができますようにお守まもりください。」

(支援教師 中村孝)